



赤羽国土交通大臣が、立山砂防および立山カルデラ砂防博物館の視察のために来所されました。立山カルデラ内では、平成21年6月に重要文化財に指定された白岩砂防堰堤やICT施工を進めている有峰二の谷の工事現場などを視察され、砂防の最前線で業務を行う職員を激励しました。

また、視察に先立ち地元関係者との懇談会を行い、厳しい環境での砂防事業について意見の交換を行いました。

視察日時：令和2年9月30日（水）9:30～14:45

場所：立山カルデラ砂防博物館

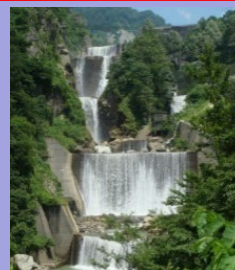
立山砂防事務所、水谷出張所、砂防工事現場等

出席者：赤羽国土交通大臣、井上水管理・国土保全局長  
岡村北陸地方整備局長

地元関係：立山町…舟橋立山町長  
立山砂防女性サロンの会…尾畑会長  
吉友アドバイザー  
立山山麓防災・安全対策協議会…高尾会長  
高平副会長

## 現地視察の様子

白岩砂防堰堤



立山カルデラの出口に設置された基幹砂防堰堤。本堰堤から第7副堰堤までの総落差は108mで砂防堰堤としては日本一の落差をほこる。  
平成21年6月には、砂防堰堤の文化的な価値が認められ、国の重要文化財に指定された。

赤羽大臣より

迫力がすごい。規模の大きさや、80年経過した今も役割を果たしていることに感心する。

水谷出張所



赤羽大臣の激励

大変な現場でしょうけど、地域のため日本一の砂防事業に携わっているということ誇りに引き続き頑張ってください。

地元関係者懇談会



【出席者の意見要旨】

○立山町長  
常願寺川は日本一の急流河川であり、立山砂防のおかげでしっかり守られている。

○女性サロンの会  
立山カルデラのことを知らない人が多く、女性の視点で防災教育と合わせて伝えていく。

○立山山麓防災・安全対策協議会  
自然環境の厳しい中で富山平野を守る仕事に携わっているという、誇りと気概で頑張っている。

【赤羽大臣より】

皆様の気持ちに感謝しながら、国交省も皆様の思いに応えられるよう頑張っていきたい。

ICT施工現場(有峰二の谷)



落石の危険度が高いことから、安全のため無人化による工事施工が進められている。

赤羽大臣より

最新の技術で進められていることがよくわかる。大変な現場でしょうけど、事故が無いように頑張ってください。